

小児の疲れに漢方薬を

「疲れた」と子どもさんが訴える時は2つのことを考えます。

①身体的な疲れ → 回復が早い

②精神的な疲れ → 回復が遅い

これは大人でも一緒です。

あまりにも疲れを訴える時は、一度採決などの検査をします。病気が見つければ治療を始めます。

検査に以上がなく、病気が十分に把握できないときは、お子さんの体質や精神的な面でのフォローが必要です。

カゼを引いた後の疲労	小柴胡湯(しょうさいこうとう)が良いでしょう。ご飯を食べない時は、六君子湯(りっくんしとう)、小建中湯(しょうけんちゅうとう)、補中益気湯(ほちゅうえつきとう)です。
虚弱児の疲労	もともと疲れやすい時は、六君子湯(りっくんしとう)、人參湯(にんじんとう)、小建中湯(しょうけんちゅうとう)など。
起立性調節障害	朝起きれない、めまい、頭痛、腹痛が起こる時は、補中益気湯(ほちゅうえつきとう)、苓桂朮甘湯(りょうけいじゅつかんとう)など。
心身症に伴う疲労	小建中湯(しょうけんちゅうとう)、柴胡桂枝湯(さいこけいしとう)など。

ごはんを食べても、しっかり眠っても元気が出ない時は、一度漢方薬を試してみましょう。

お配りできる「漢方薬に関する小冊子」
(と言ってもコピーをしたものですが)がいくつかあります



- 気楽に使ってみよう漢方薬 (小児用)
- 中高年のための漢方治療 (中高年用)
- 楽しい！漢方外来の実際 (セミナーの内容)
- 漢方ブログ集 (第1弾) 第2弾は4月下旬の予定



お知らせ

休診のお知らせ

5月7日(月)、5月8日(火)は休診します。
よろしくお祈りします。

< 小児夜間急病センター当番日 >

5月18日(金) 19:30-22:30 (受付)
岐阜市民病院にて